

令和6年度 第4回勝浦市地方創生総合戦略策定推進会議 会議録

開催日時 令和7年3月18日（火）10時00分～

出席委員 渡邊嘉男 信田哲夫 鈴木恒夫 乾康信 吉野安男 渡邊浩之 久我恵子  
浅野光映 竹下泰子 渡邊喜代子 高梨真一 清野義弘 石井春人 秋山直輝

欠席委員 松田周平 川本聖峻 前岡亮介 青木亨 野村守

事務局 情報政策課 高橋課長 原情報政策係長 蛸主事  
企画課 青山課長 忍足政策推進係長 鈴木主査補

説明員 観光商工課 岩瀬課長 渡邊課長補佐

議題 (1) 令和5年度地域再生計画事業の活動報告及び事業検証  
(2) その他

会議の概要

発言者	発言（要旨）
議長	<p>【9時58分】</p> <p>事務局高橋課長より、会議開会を宣言。欠席者の報告をおこなう。</p> <p>議長である渡邊会長より、出席委員は14名であり、定足数に達していることから、会議の成立について宣言が行われた。</p> <p>事務局より会議内容の説明</p> <p><b>（1）令和5年度地域再生計画事業の活動報告及び事業検証について</b></p> <p>初めに、担当課より事業内容の説明を行い、委員より意見等受けること、委員の評価については、異議がなければ担当課の評価を委員評価とする旨の説明。</p> <p>議長の説明に対し、委員了承のうえ、令和5年度に実施した地域再生計画事業である「（仮称）かつうら海中公園再生計画事業」について、担当課である観光商工課より事業説明及び事前質問等に対する説明が行われた。</p>

委員	<p><b>質疑、委員意見要旨</b></p> <p>課題の要因分析ですが、達成しなかった原因として、ビジターセンターの解体に伴う工事、多目的広場の整備工事が挙げられているが、この施設自体に対する不備な点等は、考慮されていないのか。工事があったから目標達成しなかったと読み取れるが、その他この施設自体の何かで達成できなかったということは考慮されていないのか。</p>
担当課	<p>かつうら海中公園、海の博物館が安価で入園できる施設となっているところ、eden については、スパ、レストランに関して、少し高い客単価を想定していることでの相違が影響してると分析している。</p>
委員	<p>宿泊数が少ないと、何で勝浦市に泊まってくれないのか。</p>
担当課	<p>勝浦市は宿泊施設がかなりあり、近隣より多い宿泊者数で 30 万人ぐらいが泊まっていたいているが、日帰りが多いと分析している。</p>
委員	<p>要因と課題を踏まえた具体的な取り組みの中で、市民利用促進の取り組みの実績と効果についてお聞かせください。</p>
担当課	<p>市民の皆様にも愛される施設でなくてはいけないということで eden とも相談し、スパの市民割を昨年 10 月から始めている。半額でスパを利用いただけるものです。利用実績は一月に 10 人弱ぐらいで、まだ浸透していないところがあるのと、市民の方もまだハードル高いようなイメージを持たれているのかと考え、利用をされやすいような施設にしていかななくてはいけないと考えている。もう一点、高齢者の入湯券の利用施設にもしている。</p>
委員	<p>高齢者の入湯券の利用実績はどのくらいでしょうか。</p>
担当課	<p>5 年度の実績は 52 件、今年度も同じぐらいです。</p>
委員	<p>今年度も継続し、月に 10 人弱の利用ということは、やはり周知度が足りない気がします。この周知度に対して、ホームページ、広報かつうらで周知だと足りないのではないか、何か他の周知方法を考えた方がいいかと思うが、何か案があるか。</p>

担当課	ホームページ、広報等では周知しているが、利用が伸びない状況ですので、SNS 発信など、考えられうることはしていきたい。
委員	高齢者の入湯券など、特に SNS は、なかなかご覧にならない方が多いのではないかと、何か他の手を考えなければいけない。やはり市民の利用が図られないと、他のお客さんに口コミで広がるのも大きいと思う。もっと高齢者の方にせっかく入湯券の扱いができるのなら、もう少し力を入れるべきですし、市民の利用を高める方法を考えていただきたい。そこを課題としていただきたいという要望です。
委員	今回の会議の目的が、この事業の令和5年度の活動の評価ですので、評価の体制を今一度事務局に説明をいただきたい。今回Cという評価ですが、AからDまであって、Cという評価がどういう評価なのか確認したい。
事務局	今資料を持っていませんので、少し時間をください。
委員	評価の説明で、私の捉えでは、この事業を行うことで勝浦市が抱える課題を解決するというストーリーで、この事業が始まっていると思うが、説明の中で、例えば、本施設への取り込みが十分でなかったというような説明があるが、これは施設の利用者を増やすために、他から呼び込むということではなく、この施設に来ていただいた方が、他の施設を利用するとか、そのような波及効果をまず考えて事業が始まっていると思うが、その辺の認識をいただきたい。まず eden に行っていたお客様があって、そこに目的で来たお客さんに勝浦市内で泊まったり、朝市を見たりと考えた、最初の目的はそうだと思うが、そうではなく eden に集客するために他の所に来ているお客様を取り込むという考え方になっているような気がするのですが、そこに齟齬があれば教えていただきたい。
担当課	そのような二つの視点はあると思います。一つは、eden を建設して、市内滞在時間を延ばし、市内への収入とか、勝浦観光の拠点となることは原則的に eden の存在意義だと思っています。そのような視点から評価も必要かと、あと一点、多額の交付金を投入して建設していますので、営業的、事業的な eden の収益的な視点があると考え、eden の経営状況や集客の視点でしっかり評価していかないといけないと考えたところです。

委員	<p>eden の収支状況を十分検証する必要があると思うので、まず市の課題解決のためにやった事業であるということは、間違いないですね。そうすると eden を目的に来る方がどのぐらいいたかが、大前提として一番重要なことではないかと考えますので、施設利用者が何名か非常に大きな KPI だと思うのですが、その点は間違いないですね。課題解決のところに、これだと他の施設に来た人、例えば朝市に来ている人を eden に取り込むという、その取り組み方法がうまくいかなかったという課題認識ですと、この方向感が違ってくるような気がするのですが、私は、このエリアを目的に来る人を増やして、そこから他の観光地、朝市に行ったり、宿泊したりという方を増やすという目的で最初始まっているのではないかと思います、その認識の相違があると方向感が出ないと思います。</p>
担当課	<p>当然その視点は、本当に一番最初の根幹になるところだと思うのです。eden を目的に来ていただいて経済波及効果を生んでいこうというのが原則的な視点、ただ今回の他の所が増えているのを取り込めていなかったというのは、eden の収支的なものや、事業の進捗上の大事な視点と想っているところで、そこを特化して評価をしている部分もあるので、原則的には広く勝浦観光という意味で重要な拠点という位置づけは変わらないと思っています。</p>
委員	<p>あまりうまく理解ができなかったが、もし eden の収支状況まで加味して評価をするとすると、この場で eden の収支状況まで触れていかないと評価のしようがないと思うのですが、用意されていないと思いますので、今求めませんが、考え方というのが、当初どうであって、最初の始めたときに、どのような目的で始めたのかが明確になっていないと、ここで協議するための方向感がずれてくるような気がしますので、要するに朝市に来たお客さんが eden に来ることは、いいことだと思いますが、本来の目的 eden に来る人が他の所に行っていたら、観光客を増やすことが最も重要なことだったのではないかと思います、課題解決のために、そこがもし違ったら、申し訳ありませんが、そこはよく理解できなかったんですが、理解できてないと。</p>
担当課	<p>まさに本当におっしゃる通りと思うので、この評価が、少しここが違うのではないかと、それはそれで評価され、そちらを意識しながら、eden の収支というと極端ですが、入込を見ていただいているところですが、eden に集客している人数もしっかり見ていきたいと思っています。</p>

委員	<p>eden ということで、委員の方で行ったことがある人がいるのか聞きたいです。市民の皆様、私の知る中で聞いたことはないです。eden という話も、海中公園の話をしませんが、今 eden という言葉を各家庭で、あまり知らないのではないか、eden に行きましょうと聞いたことがないのです。だから周知をどうしたらいいかという 1 点です。余談で、私は天台宗の全国の副会長やっていて、年 3 回京都で会議がある。自己紹介をするときに、勝浦は、冬は暖かく夏涼しい、自然の磯根もありと話をしますと、大変いい所に住んでいますねといわれます。eden という話もしませんけれど、今初めてその言葉が、勉強不足で恐縮ですが、委員の皆さん方ももちろんそうでしょうが、市民の方があまり知っていないのではないかとということを私は付け加えたいのですが、別に回答もいいが、あんまり知っていないです。言葉にも出ませんけれど、全国に行くと言明するのに、eden という言葉は初めて今、冬暖かくて夏涼しい、魚介類がある、カツオもよく揚げられます。等々しか話をしませんが、それだけでも大変いい所に住んでいるということで褒められるのです。これは余談ですけど付け加えさせていただきます。</p>
事務局	<p>評価の回答を、すぐにできずに申し訳ございませんでした。評価基準 A B C D の 4 段階で付けさせていただいています。A は、目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。B は、ほぼ目標通り進捗しており、継続して事業を推進する。C は、目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。D は、目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。このような基準で付けていることになります。</p>
委員	<p>この C のやや下回っていると、D の大きく下回っている基準はどのように違いますか。</p>
事務局	<p>パーセンテージ、数字で表すと、C は、概ね 5 割程度から 8 割程度の達成状況、D は 5 割を切るような状況の数字での基準となっています。</p>
議長	<p>先ほどの質問の中で eden に集客するような話があったのですが、私が考えるには、海中公園と博物館と eden と総合的にやる必要があるのではないかと。海中公園にしても、海の博物館もかなり人が増えてきているので、eden だけ少し低迷してるということで、対応としてスパの市民割や高齢者の入湯券の対応があるのですが、海中公園や博物館に来ている人たちにフィットしたような eden の対応を考えていかないと、単価が少し高いところは、一つネックに</p>

<p>担当課</p>	<p>あると思うのですが、提供する商品のニーズがあると思うのですが、この辺も検討していかないとこの中で eden だけ取り残されるような状況が出てくるのではないかと思います。もう一つは、営業時間別にどうかは、わかりませんが、どちらかというとかかなり夜までやっています。ただ営業は、どの時間帯なのかも、もう 1 回確認して、これは経営に関わる部分と思うのです。このままいくとなかなか厳しい感覚を私は受けるのですが、そのようなものも含めてもう 1 回、総合的な観光の広報、もちろん理想郷など、自然も含めて、もう 1 回きちんと総合的に見直さないと、eden だけ取り上げてもなかなか難しいことだと思うし、eden に限って言えば、他の観光客の年齢、構成によって、eden の内容を少し変えていかないと、ここがやはり伸びてこないのではないかといい感じもして、その辺はどうお考えか。</p> <p>今回の会議は eden のことがテーマで eden に特化して話をしているところですが、令和 5 年度に eden だけではなく、海中公園エリア一帯をみんなで盛り上げていかなくてはいけないということで、海中公園再生プロジェクトチームを、千葉県も自然保護課と観光政策課と文化振興課の三つのセクションに入っていていただき、漁業組合と地元の区、そこに絡む利害関係者が一堂に会して何度か会議を開催してきたところです。その中で eden について、やはりその辺のギャップが当然あるのではないかとということも話されています。eden も歩み寄っていただく発言もあって、令和 6 年度に関しては、メニューをアラカルトメニューにさせていただくとか、海中公園に来られた方も楽しんでいただけるようなメニューも結構投入していただいて、6 年度は少しお客様の増加が見られるところです。eden にスポットライトを当てて、メディアにも多く取り上げられましたので、あのエリア自体が eden があることで、おしゃれな空間のようなイメージも持たれた方もいらっしゃるので、都会から結構若い子たちが eden をめがけてとか、海中公園も、あのエリアに観光客が今結構来られる状況は、eden 効果として生まれているかと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>eden を私も見に行ったり、利用したりすることもあるが、海中公園に来ようという客層と、eden に来ようという客層がやはり違うような気がする。海中公園に来ている層を eden にというと、あそこに小さなお子さんなどが結構入ってきたりすると、あその雰囲気を見ながらお風呂に、足湯に浸かってという時間を過ごせなくなるのではないかとということもあると思うし、例えば勝浦の方々、やはり施設は地元の人間から愛されなくてはいけないのは当然ですが、ただやはりあそこに行ってパエリアを食べてこんな高いのというよ</p>

<p>担当課</p>	<p>うな気はします。でもそれは都会から来た方は、その料理だけではなく、あの環境を見ながら食べるということによってお金を、対価を払っているということを見ると、やはり妥当という料金設定も考えられなくはないので、その辺も十分考えないと、あそこに来る人が地域に行くという目的をはっきりしておかないと、評価のしようというのは難しいのではないかと思います。</p> <p>多目的広場を最近完成したところで、今後イベントなど、海中公園に来られた方に楽しんでいただけるような仕掛けをしていきたいと考えていることと、ビジターセンターの建物を県に解体していただき、きれいな景観に海が見通せるようにしていただいたことと、今立ち入り禁止になっている県の所有の栈橋も県に直していただけて、皆さんに海に突き出た栈橋をまた利用していただけるようにしてくれるとか、徐々にあのエリア自体が成長しているような状況でして、当然評価していただく上では、あのエリアをしっかりと評価しながら、勝浦市内の観光の拠点とすることはしっかり行いたい。</p>
<p>委員</p>	<p>令和5年のところで、おそらくコロナの影響が多少なりとも前半あったかと思うのですが、KPI1の施設利用者7万人の数値目標ですが、コロナが確か5月まで、皆さん外出を控えていた部分もあると思うのです。担当課として具体的なところで、この7万人というのはコロナの影響が全くなかったとして、通年稼働した場合で多分捉えてると思うのですが、どの辺まで利用者が増えればいいのかという内々的な目線はお持ちでしたか。</p>
<p>担当課</p>	<p>計画を作成した段階で目標値が設定されていますが、当時私どもが携わっていないのですが、おそらくこの目標値、例えば1年目6万人という数字については、当時の海中公園の入り込みが大体そのくらいで、それと同じくらい入るといいということで、コロナ禍ではあったのですが、海中公園の数値が6万人くらいで、それと同じくらい来るというのを目指していこうということで1年目6万人の少しずつ増やしていくことで、7万人、8万人に増やしていく目標になっているのですが、実際は現実的に厳しいと思っており、今年度の数字を先ほど触れましたが、少し増えてはいますものの2月末で3万6千人くらいで4万、5万人というところが目指すべきところ、現実的な数値と思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>大きく乖離していたので、コロナの影響も加味しなければいけないということだと、昨年度の実績はコロナが丸々かぶっていたと思いますから、その部</p>

議長	<p>分を実態的なものに対してどのぐらい乖離があったのかが知りたくて、質問させていただいた。</p> <p>要するに見込み数から目標設定を当初したのか、受託する eden 自身の経営的なものもあると思う。経営の損益分岐点とは言いませんが、そのようなところにも根ざしていないと、ただ単に数値目標だけ行くと、結局、経営が成り立たないような状況が出てきてしまう可能性もあるのです。その辺も踏まえて目標を見てやらないと、市としてはこうだと言うも、現実的に受けた方がそれで収支が整っていくのか、経営が継続していくのか、そのようなところが目標の一つの中には加えておかないといけないのではないかと感じもしないでもないが、その辺はどうですか。</p>
担当課	<p>店長と話す機会があるのですが、5年度、6年度、皆さんの協議の中で、客単価を落とす。特にレストランを落としてやっていただくことで少しずつ人数が上がってきているのですが、売り上げに関しては、その人数に当然比例しないと、売り上げは減ることはないのですが、それほど増えないです。要するに客単価が減っていますということなので、市としてはこの計画上の数値だけを求めるのであれば、いくらでも客単価を下げてもらって数値を増やしてもらいたいとなってしまうのですが、それはよくないことだと思いますので、経営されているソルトコンソーシアムとの話し合いの中で、例えば5年度は7万人を目指していくのか、6年度、7年度で数字が増えていくのですが目標値は、そこではなく現実的な経営も成り立つような入り込みを目指していくべきなのかは、そこはしっかり協議しないといけないと思っています。計画上の数字ではないだろうというのは感じています。</p>
議長	<p>やはり経営的に成り立っていこうとすると、例えば人を減らしたり、サービスが低下してしまうような、そうすると当初目標から全く乖離してしまうと、その辺はやはり十分相談しながら進めていかなければいけない。例えば最低ここまで行きたいということであれば、それに対してどのような対応をしていくかを両者でやはり相談していかないとという意見です。</p>
担当課	<p>土日や特に夏季、ひな祭り期間も相当お客さんが入ったとの話を聞いていますが、平日はやはり寂しいという話なので、そのようなところがまだキャパシティとして残っているので、どうしたらいいのか役所もそうですし、周辺施設の方々とも連携しながら、何かできないかを考えていきたい。</p>



委員	私は都会の人からいろいろ聞かれますが、他の施設など聞きません。勝浦という所は食べる所はありますかと、安房の方は富浦漁港、富津には、ばんやという施設があります。勝浦は、どこかとみんなで教えるのに困るわけです。だからよそから来るお客さんは、施設など聞きません。私の関係した人は、食べる所を聞かれますが、それについてはいかがでしょうか。
担当課	新鮮な魚が食べられる所、新鮮な物をお買い求めいただけるような直売所的なシンボリックな拠点がよく観光地にあることは、認識していますし、勝浦に設けられるかは、常にいろいろな場において協議をされているところです。そのようなものがあるとは認識していますし、勝浦に必要なかどうかというのは常にいろいろなところで協議をされていますが、実現性はまだないです。
委員	事業状況説明書の最後のページのグラフですが、令和6年度が違っているのではないかと、追加資料からこちらの資料を比べてみると、最終的なところが3万5千を超えているのですが、実際3万3,759ではないかと思われるのです。単純に令和6年度のレストランとスパを足してもここまで合計がいけないと思うのですが、数字というか棒グラフが違っているのかと、合計の3万6千がレストラン2万3,958とスパの9,801を足すと3万3,759になるべきではないですか。
議長	レストラン、スパの数字が違うのか、合計が違うのか。すぐ出ないですか。
担当課	レストラン、スパの数値が少し古くなっておりまして、合計が3万6千の内訳が間違っておりまして、縦計があっていないのですが合計だけが合っている。
議長	合計は合っているのですね。すぐ出ますか。出なければ後日示してください。ほぼ3万6千。そういうことでご理解いただきます。よろしいですか。
委員	先ほど業者の方と話をして、レストランの見直しという話があったのですが、実際このグラフから見ると、レストランはそこそこ伸びているのですが、スパがずっと同じような状況ですので、レストランよりも、スパの見直しをしたほうがいいのかと個人的には思いました。
議長	質疑終結後、担当課評価を、委員の評価とすることの確認があり、全委員の異議がない旨了承された。【評価結果C】

議長	<p>以上で担当事業の検証が終わりましたので、担当課はこれをもって退席していただきます。</p> <p>(担当課退席)</p>
議長	<p>(2) その他</p> <p>その他で何かございますか。それでは事務局から何かございますか。</p>
事務局	<p>本日お配りしました事前質問・意見等一覧の2番に記載されておりますとおり、委員から意見をいただきました。会議の体制の件で、PTAの役員や保育所の若いお父さんお母さん方にも参加していただいた上で勝浦市のために意見をいただいたほうがいいのではないのでしょうかというご意見をいただきました。こちらについて、前回の会議でも委員の構成についてご意見をいただいておりますので、そちらの意見も踏まえまして、これから内部でいろいろ調整させていただいて、進めさせていただき、その上で体制案を改めてまた委員の皆様にお示しした上でご意見をいただきたいと思います。以上で報告を終わります。</p>
委員	<p>今回いろいろ皆さんの意見が出てきて、この課題解決について、いろいろな貴重な意見が出ていると思います。やはり3月に前の年度の評価をやるのは、タイミング的にかなり遅いので、6月と決まっていますので6月に実施していただいたほうが、今年度の課題解決や、皆さんの意見を取り込んだ上でいろいろ検証ができると思います。そこをお願いしたいと思います。この最初の事業計画のところで4億の費用をかけてやった事業に対する評価と考えていただきたいと思いますのは、何年でこの4億の回収ができるか考えたときに、それなりの計画を市で立てていて、これが5割を下回る形で評価Cというのが果たして正しいのかというのは、個人的に思っていて、4億、市から2億使っている認識で、この2億のお金がedenの施設にあって、それが波及効果として市の課題解決に繋がって、それが何年で回収というか効果として現れているかを確認していかないと、せっかく投資したものが有効に活用できないことが続いてしまうような気がします。あと目標値が大きく乖離しているようであれば、実態に合わせた形で目標修正をして、それを達成していくということで、やっていただきたいと思いますので、意見としてお伝えしたい。</p>
議長	<p>第4回地方総合戦略策定推進会議を閉会とする。</p> <p>(11時8分終了)</p>